

三重県立看護大学の 地方独立行政法人化に向けてのアンケート結果について

三重県健康福祉部健康福祉総務室

県立看護大学の独立行政法人化に際して、県立看護大学の業務運営の目標や計画等の策定の参考とさせていただくため、アンケートを実施しましたところ、642名の方からご回答をいただきました。下記のとおりアンケート結果を取りまとめましたので、ご報告いたします。



アンケート実施期間 平成20年1月18日（金）～平成20年2月14日（木）
意見募集の結果 対象者数 1,041名、回答者数 642名、回答率 61%

Q 1 三重県立看護大学についての評判や話題をお聞きになることはありますか？

「よく聞く」「時々聞く」の計16%に対して、「あまり聞かない」「聞かない」の計が78%となりました。県立看護大学は県民の皆さんにあまり身近な存在とはなっていないと言えます。

Q 2 三重県立看護大学の入試の難易度は高いと思われますか？

「そう思う」または「ややそう思う」とする回答が38%と「あまり思わない」「思わない」の計17%を上回っています。

Q 3 三重県立看護大学の学生は優秀だと思われますか？

学生に対する印象は「そう思う」「ややそう思う」の計が38%、「あまり思わない」「思わない」の計が10%となりました。県立看護大学の学生が優秀であるという印象を多く持っていていただいているようです。

Q 4 三重県立看護大学の卒業生は活躍していると思われますか？

「そう思う」または「ややそう思う」と31%の方に回答していただきましたが、半数を超える57%の方からは「わからない」との回答でした。記述意見にも、「病

院等で働く看護師の出身教育機関まではわからない」とのご指摘もあり、県や大学からはいろいろな工夫をして卒業生の仕事の様子や活動状況をお知らせしていく必要があることが示されています。

Q 5 三重県立看護大学は社会に開かれた大学だと思われませんか？

「あまり思わない」「思わない」の計が29%となり、「そう思う」「ややそう思う」の計21%を上回りましたが、47%と半数近くの方が「わからない」と回答されています。

Q 6 三重県立看護大学は地域に貢献していると思われませんか。

「そう思う」「ややそう思う」が40%となりましたが、この質問でも他の質問においても約半数の方が大学の印象を「わからない」としておられることから、大学の活動内容や詳しいことはわからないものの、県立の看護大学としては看護師の養成や大学の活動を通じて地域に貢献している、との印象をお持ちいただいていると考えられます。

Q 7 三重県立看護大学は優れた研究を行っていると思われませんか。

「そう思う」「ややそう思う」の計が15%、「あまり思わない」「思わない」の計が18%に対して、64%の方が「わからない」とされています。Q6までの大学そのものの印象や学生に対する印象をおたずねする質問に比べて「わからない」の率が高くなっていることから、大学が行う研究については専門的、学術的な内容をわかりやすくお伝えしていく必要があると言えます。

Q 8 三重県立看護大学には優秀な教員が多いと思われませんか。

この質問についても、「そう思う」「ややそう思う」の計14%、「あまり思わない」「思わない」の計13%に対して71%の方が「わからない」と答えており、教員の活動や研究内容など県立看護大学の人的資源、知的資源に関するお知らせが十分ではないことが示されています。

Q 9 三重県立看護大学の授業料（平成19年度授業料年額535,800円）は安いと思われませんか。

「そう思う」「ややそう思う」46%、「あまり思わない」「思わない」39%、「わからない」17%と、「高い」印象と「低い」印象が半々くらいとなっています。

Q 10 三重県立看護大学は就職に有利だと思われませんか。

「そう思う」「ややそう思う」の計が67%となりました。卒業生には看護師等の国家試験の受験資格が得られることや昨今の看護師不足の状況から就職に有利であると受けとめられていることがうかがえます。

Q 1 1 三重県立看護大学の印象について（自由記述）

学生の質の高さや地域への貢献については、肯定的な印象を寄せていただいているご意見もある一方で「県立看護大学があったことを知らなかった」「何もわからない」「もっと情報の提供が必要」というご指摘が数多くありました。

看護学部のみ単科大学でもあり、医療や保健等の関係者の方や受験生やそのご家族以外の方などにはなじみが薄いようですが、県立の大学として、県民の皆様にもっとよく知っていただけるように、より積極的、効果的に情報をお知らせしていくことが必要であることが示されました。

Q 1 2 あなたと三重県立看護大学との関わりについてあてはまるものを選んでください。

県立看護大学では、県民の方を対象にした公開講座を実施したり、大学の図書館を一般の方にも開放したりしていますが、回答では大学との「関わりはない」が圧倒的に多くなりました。今後の行事の実施方法や広報活動に改善の必要があります。

Q 1 3 三重県立看護大学には附属研究機関「地域交流研究センター」が設置されていますが、ご存知でしたか。

地域交流研究センターについてご存知の方は2%と、同センター及びその活動は殆ど知られていないという結果となりました。同センターが実施している各事業について、その充実とともにより積極的で効果的な広報が不可欠であることがわかりました。

Q 1 4 三重県が県立の看護大学を設置して運営する意義と思われるものは？

「県立」の「大学」として、「県内の保健・医療・福祉職場への看護職者の供給」（31%）、「高度な専門知識を持った看護職者の養成」（26%）、「県内の看護職者への専門教育の実施」（15%）などが上位に挙げられています。

Q 1 5 今後の三重県立看護大学の教育に関して期待されることは？

「県内で働く看護職者を増やす」（18%）、「幅広い知識・教養を身に付けた人材を養成する」（18%）、「看護職場でのリーダーとなる人材を養成する」（15%）「専門性を重視した教育を行う」（14%）などが教育について期待されています。

Q 1 6 今後の三重県立看護大学の研究活動に関して期待されることは？

「地域の課題解決に貢献する研究」（26%）や、「県民や地域の要望に基づいた研究」（19%）を行い、「研究内容や成果を学外にもわかりやすく知らせる」（25%）ことが期待されています。

Q 1 7 今後の三重県立看護大学が行う社会貢献に関して期待されることは？

「教員の持っている知識や大学の知的資源」を県民の皆さまや看護関係者に提供していくことにそれぞれ30%前後の方からの期待が寄せられています。

Q18 今後の三重県立看護大学の運営について期待されることは？

「経費を削減するなど効率的で無駄のない大学運営」（24%）、「自立した責任のある大学運営」（19%）、「大学の情報の積極的公開と運営の透明性の確保」（14%）などが上位の回答となりました。

Q19 三重県立看護大学への意見や要望（自由記述）

県立看護大学の情報発信と県民の皆様への周知が不十分であることのご指摘、県内への就職率の低さに対するご意見、高校、大学、専門学校などの地域の教育機関との連携に関するご意見を数多くいただきました。

また、学生に対する「人間教育」「倫理的な教育」等を重要視するご意見も見受けられました。

地方独立行政法人化に向けては、「コスト削減を主眼にした独立行政法人化は学校そのものの衰退を招く」「運営にあたっては行政外からの人材受入も必要」「外部資金の獲得をメインに考えると本末転倒になる恐れがある」などのご指摘やご助言がありました。

今後、地方独立行政法人化に向けて、県は県立看護大学が達成すべき目標を定め、法人化後においては、大学はその目標を達成するための計画を作成して、教育研究活動を行うこととなります。

このアンケートでいただいたご意見や県民の皆さんが大学に対してお持ちの印象期待されていることを上記の目標や計画の検討、そして法人の組織や運営方法の検討にあたって参考とさせていただきます、県立看護大学が広く社会に開かれた県民の皆様に関心深い大学として地方独立行政法人への移行ができますよう、準備をすすめてまいります。今後ともご意見やご助言をいただきますようお願いいたします。

日常生活ではなかなか接していただくことのない県立看護大学について、お忙しい中ご回答いただきましたモニターの皆様には、あらためて心よりお礼を申し上げます。

